



人と植物の共生

— 都市の未来を考える —

Symbiosis of People and Plants for the Future of the City

都市緑化は、健康、防災、文化にも深く関わる課題として、世界の多くの大都市が真剣に取り組んでいます。大都市の中でも緑被率が際立って低い大阪にとっては特に重要な課題です。本シンポジウムでは、工学、理学、医学、人文科学の分野の研究者、植物園の関係者を演者としてお招きし、都市社会における人と植物の共生のあり方と将来像について多面的に議論します。英語の同時通訳を付けて、市民参加をサポートします。

6.10 [土] 9:30-16:30 講演会

会場 | 大阪市立大学・田中記念館ホール (JR阪和線の杉本町駅より徒歩約5分)

演者 | Barbara Baldan (パドヴァ大学植物園)、Didik Widyatmoko (ボゴール植物園)
Barrie Shelton (シドニー大学)、Shawn KY Lum (シンガポール南洋理工学大学)、嘉名 光市 (大阪市立大学)
鍋島 美奈子 (大阪市立大学)、渡辺 恭良 (理化学研究所)、飯野 盛利 (大阪市立大学)

6.11 [日] 10:00-16:45 ワークショップ

第1部「森の歴史と植物多様性から学ぶ」、第2部「文化創造性から学ぶ」

会場 | 大阪市立自然史博物館・講堂 (地下鉄御堂筋線/JR阪和線の長居駅より徒歩約20分)

主な演者・コメンテーター | 初日講演会の演者に加え、Hans Thomsen (チューリッヒ大学)、Franz Waldenberger (ミュンヘン大学)
馬 玉明 (内モンゴル農業大学)、李 庚 (京都造形芸術大学)、百原 新 (千葉大学)、久山 敦 (咲くやこの花館)
戸部 博 (京都大学)、加藤 雅啓 (国立科学博物館)、岡野 浩 (大阪市立大学)、伊東 明 (大阪市立大学)
佐久間 大輔 (大阪市立自然史博物館)、有山 麻衣子 (奈良県森林技術センター)、塩崎 雅亮 (ギター製作家)

参加費用 | 1日目の講演会は参加無料、2日目のワークショップは博物館入館料が必要

参加申込 | 氏名・連絡先、何日のプログラムに参加希望かを電話、FAX、電子メールのいずれかで6月3日までにお知らせください。

問合せ・申込先 | TEL/ 072-891-2681 FAX/ 072-891-7199
電子メール/ sympo@sci.osaka-cu.ac.jp (大阪市立大学植物園研究棟)

[主催] 大阪市立大学国際シンポジウム「人と植物の共生—都市の未来を考える」組織委員会

[共催] (公社)日本植物園協会・(公社)日本WHO協会・大阪市立自然史博物館

[後援] 大阪市・交野市・大阪府

[助成] 日本万国博覧会記念基金・(公財)国際花と緑の博覧会記念協会

